



NIA SQUARE スクウェア

第45号

1999年3月17日発行
＜編集＞
習志野市国際交流協会

特集	保存版 ホストファミリー&ホームステイ・マニュアル	World Watching	中国/長春
Report	初めてのホストファミリー	国際交流最前線	ギニア共和国でボランティア体験
What's New	Tuscaloosa通信	Air Mail定期便	異国で楽しく過ごすには
N.I.A. Youth	英会話教室&パーティーをふり返って	会員紹介	こんにちは・コ・ン・ニ・チ・ハ

＜特集＞ 保存版 ホストファミリー&ホームステイ・マニュアル

習志野市国際交流協会(N.I.A.)が行っている事業のなかに、各家庭で海外からのお客様を受け入れていただくホストファミリー・プログラムと、習志野市の青少年が姉妹都市を訪問して現地の家庭で生活体験するホームステイ・プログラムがあります。それぞれにとっても良い経験、良い勉強にな

ったという声を多数いただきますが、一方で初めての体験に戸惑う方もいらっしゃるようです。そこで今号の「N.I.A.スクウェア」は、これから実際にホストファミリーやホームステイを体験してみたいと考えている皆さんが持っている不安の数々にお応えしましょう。

I ホストファミリー編

ホストファミリーを経験した皆さんの多くが本当に良かったと感じていることは、人間としてお互いの心が通じ合うことを確認していく過程にあるようです。言葉や習慣の違いに戸惑いながらも、外国人と共に生活を営むことで見えない壁を取り払われ、いつのまにか自分が今まで知らなかった日本に気付くことがあるかも知れません。家族が協力し合って、一つの目的に向かって努力してみるのも貴重な体験です。あなたがホストファミリーになることを決めるとき、一番大切にしたい気持ちは相手の立場になって考えてみることに。例えば、次のようなことではないでしょうか。

■心構え

よくある質問に、「部屋が狭い、冷房がない、外国語は全くだめ」等々があります。そのようなことに不安を感じる前に、自分がゲストの立場だったらどう受けとめるかをまず考えてみてください。狭くても感じの良い、自分のために用意してくれたとわかる部屋なら嬉しく思うし、反対に、案内された部屋が暗くて、汚くて、いかにも思いやりのない部屋が当てられた、というのでは悲しい思いをします。また、以前は家族の誰かが使っていた部屋であるとか、普段はこんな使い方をしているなどと知らされれば、愛着を感じるものです。お子さんと同世代のゲストなら子供部屋を共有させても構いません。それによって、「家族の一員として同じ生活をしている

同じ扱いを受けているんだ」という親近感さえ持つようになるでしょう。大切なのは部屋の善し悪しではなく、その家庭内で差別のない生活をさせてあげることが本人にとって居心地の良いことなのです。

我が家なら、言葉に自信がなくても顔と顔が向き合っているのだからある程度のことは分かってもらえるものです。お互いのために辞書を用意しておけば会話も弾むかも知れません。流暢な英語でなくても自分の言いたいことを単語交じりの日本語で伝えれば、相手の返事も何となく分かるものです。ホストファミリーとして大切なことは、どんな状況でも相手を友達として扱い、孤独な思いをさせないということなのです。

ゲストが決まったら、落ち着いて日程を整理し、行動をイメージしてみましょう。ホストファミリーは、単に外国人を家に寝泊まりさせ、どこかに連れて行ってあげるためのものではないのですから…

■情報は多いほど良い

受け入れる前に、相手の国や個人についてなるべく多くのことを知っておいた方が、急に慌てることが少なくなるのは当然です。職業、趣味、嗜好、食事、宗教、信仰の度合いetc.…。しかし、N.I.A.などの団体を通じてゲストを紹介される場合は、時間的な制約から必ずしも十分な個人情報を得られないことがあります。その場合は、自分で手紙を書いて直接情報交換してみましょう。最近では、電子メールで連絡を取り合うのが日常茶飯です。こうした事前のやり取りがあると、

初対面のとき効果がテキメンというわけです。

■ドキドキ初対面

さあ、いよいよ顔合わせ！緊張しているのはゲストの方です。見知らぬ場所に着いたばかりの彼らを、ボランティアの心で暖かく迎えてあげましょう。初対面の印象は、大変強く思い出に残るものです。日本では、人前でキスをしたり抱き合ったりする習慣は一般的ではありませんから、何も積極的にそうする必要はありません。けれども恥ずかしがったりせず、初対面は大袈裟に演出してみましょう。歓迎の気持ちを絵や文字に表現して示すことなどは、喜ばれるに違いありません。そして「直ぐにどこかを案内しよう」などと忙しいプログラムを考えるよりも、旅の疲れを回復させ緊張感をほぐす心遣いを忘れてはなりません。

■我が家へWelcome!

家族の皆と挨拶を済ませたら家の中を案内してあげましょう。すべての部屋を見せて、自由に使える場所やモノを教えてあげれば緊張はほぐれ、戸惑いも少なくなります。使い方が難しく理解していないようなら、図を書いて説明してあげた方が良いでしょう。日本の温水便座などは要注意です。タオルの有無、洗濯物はどうしたいか、朝食はいつもどうしているかなども聞いてあげる方が親切です。家族と同じでよければ、もちろんお客様扱いしないで皆と同じにしましょう。また、ペットは共通の話題になるものの一つですが、家族以外の人間に対して警戒しますので万一にも噛みついたりしないよう十分な注意が必要です。

■日常生活

わが家に迎えた大切な人だから、何かと世話を焼きたくなりますね。家族同然、食事には気合が入ってついつい「たくさん食べて」と迫ったり…。相手の国ではごく普通のことでも日本人には不思議に思えることに会うかもしれません。例えば、ベジタリアン…菜食主義。その理由は宗教によるものとは限らず、動物保護に対する考え方や健康上の志向など実に多種多様です。さらに同じベジタリアンでも、肉と乳製品は採らないという人から肉だけを食べない人まで様々。そんな相手に接したときは、文化の違いだと割り切って考えることです。日本語が分からないといっても、ゲストは赤ん坊ではないのですから自分の考えを持っているはずですよ。

反対に外国人から日本を見れば、変に感じることもあるはずです。あなたがゲストを「温泉」に案内してあげたとしましょう。相手から「見知らぬ人と一緒にお風呂に入るなんて、信じられない。古代ローマの入浴みたい」などと冷やかな目で言われたら、あなたは どう思いますか。少なくとも気分は良くならないでしょう。要は、相手国の歴史や習慣を否定したり変に不思議がったりせず、素直に受け入れてあげることが大切です。それでも、一緒に生活しているうちにどうしても気になり、注意したい場面が生じたら、本人の気持ちになって相手の文化を傷つけない心配りをすることが重要なのです。

■ちょっとがっかり

世の中にはさまざまなタイプの人っていて、受入側でいろいろ考え、準備していてもそんな苦労は気にも留めず不慮な行動をしたり、興味を示すこともなく「がっかり」というこ

ともあるかも知れません。こちらで考えるより軽い気持ちで出かけて来ているのかも知れませんし、自分の本当の姿を出せないでいるのかも知れません。お互いにつまらない思いをして終わらせるよりも、こんなときは取って距離を置かず、もっと相手を知るようにしましょう。一緒にやってみたいことを提案したり、相手の希望を聞いたり、とりあえずコミュニケーションを緊密にしてみましょう。それが、早く打ち解けるカギとなります。

逆に、受入側が本人を前に仲間内で日本語だけの話をしたり、話に入りにくい状況をつくってしまえば、相手にとても辛い思いをさせてしまいます。今、どんな会話をしているのか、なぜ笑ったのかなどもいちいち教えてあげるぐらい充分意識しましょう。

■お金の話

なかなか言いつらいのが、金銭関係のことではないでしょうか。例えば電話代。無事に着いたことを伝える電話ぐらいは良いとしても、国際電話を毎日かけられては困ってしまいます。使う前は断ってから、また、オペレーターを通して実費を確認するか本人のカード払いにするなど、ルールをきちんと決めることは全く変なことではありません。

観光にかかる費用についても同じです。もし、どこかへ連れて行ってあげるとき相手にも負担してもらいたい場合は、「いくらかかってしまうが良いか」と一言付け加えてあげると、かえって迷うことがなくなると思います。後から不満の種にならないように、そして、お互いが気分良く過ごせるように、「どちら持ち」なのかを明確にしておきましょう。もっとも、タスカルーサ市からの派遣生は事前研修を受けて来日しますので、大抵のマナーはしっかり身につけています。過度の心配は要らないでしょう。

■もう帰国？

楽しいことをたくさん経験したら、このまま家族の一員となって帰国の日が来ないで欲しいと思うのが人情です。ぎこちなく過ごした出会いの頃が遠い記憶となって、今はもうお互いだけが共有する貴重な思い出で心の中はいっぱいです。ホストファミリーを務めることは簡単なようでいて、お互いの心に深く影響する有意義な行為なのです。言い換えれば、ホストファミリー次第で日本という国の印象をも良くすることができるのではないのでしょうか。ゲストとは一度だけの付き合いで終わらせず、帰国後も手紙の交換などで国境を超えた友情を大切に持ち続けたいものです。

II ホームステイ編

外国へ出かけて現地の人と同じ生活を体験すると、見えてくる世界は当然広がります。その国の人々と実際に触れ合うことにより、異なる文化に対して漠然と抱いていたイメージや先入観が現実のものとなるからです。外国へ行って何をしてみようか、できることは何か、出発前に充分考えてみましょう。それが、帰国後に自分の中で満足な結果を得るための秘訣です。

■自己研修

まずは滞在する国、周辺地域、歴史や文化などの下調べです。見たいこと・知りたいこと・やってみたくことが決まっていれば、目的に対して吸収が早くなるのは当然のこと。NIAなどの関係機関や図書館・書店・インターネット等で情報収集したり、はたまた民間の留学フェアなどに参加するのも一つの方法です。この際、いろいろな所へ足を運んで自分の知識を高めておきましょう。こうした過程で得られる海外旅行の雑学もまた楽しいもの。くれぐれも、出発前の準備は旅行会社に言われるまま書類上の手続きをすただけ、などという事態は避けて欲しいと思います。

■出発まで

ホームステイする家庭が決まったら、まず挨拶状を一筆書いてみましょう。このときも電子メールが使えると便利です。手紙の内容は、ごく簡単なもので構いません。例えば、素直に自己紹介をし、魅力的なスナップ写真を添付するとか…。でも、手紙を出したからといって返事はあまり期待しない方が良いでしょう。手紙では往復のやり取りに数週間かかってしまいますし、相手の都合も考えて、むしろ聞きたいと思うことは着いてからの会話のためにとっておいた方がベターです。

要は出発直前になって慌てないように、全体の流れをしっかりと把握しておくことが大切なのです。さらに、旅行用品の準備だけでなく、相手から質問されたときのために自分の学校や街、日本のことなどについてある程度答えることができる人になっていけば素晴らしいことです。

■異国での対面

空港で入国審査を無事に通過したら、それだけで満足気分になりたいたところですがこれから本番です。ついにホストファミリーと感激のご対面。「良い子が来た！」と思われたかったら、笑顔で明るく、図々しいと思えるくらい積極的にしてみましょう。要は相手とコミュニケーションを交わす努力をすることが大切です。もし、言葉が通じなくても失敗を恐れずに別の言葉を探して、何度でも試してみてください。そうすれば、きっと気持ちが通じるはず。また、派手な出迎えを想像していたのに意外に質素な出会いに面食らったとしても、「歓迎されていないのかしら」などとは決して思わないでください。ホストファミリーは皆、その家なりのスタイルであなたを歓迎しているのですから、「期待はずれ」に思うことは何もないのです。

■アピール

家族にとって、食事は最も大切な時間です。ゲストに対しては、口に合っているか、量は適当かなどホストファミリーが気を使うことでもあります。せっかく用意してくれた料理なのに、どうしても食べることができないと思ったら素直に表現してみましょう。自分のことでもあるし、普段の食事の量や嫌いなもの、好きなものについて伝えておくことは失礼なことではありません。体調を崩して寝込んでしまったら、余計に大変ですからね。食事時の会話は、ぜひとも充実させてください。食事の雰囲気は家庭によって様々ですが、黙ってはお互いにおもしろくないし、気分良く食べるためにも「おいしい、おいしい」と言いながら食べましょう。そして、

最後に「お腹がいっぱい」になったことを伝えれば良いのです。

食事の時間、洗濯物の出し方、シャワーの使い方などについては、毎日必ず聞いて確認しましょう。特に、食事に遅れそうだったり、食べない時は必ず連絡すること。自分の判断だけで行動すると、家族の中に摩擦を生じてしまいます。また、毎朝必ずベッドメイキングし、トイレや洗面台、シャワーの排水溝はきれいにしておきましょう。やり方が分からなかったら何でも家族に聞くことです。そして、ペットも家族の一員であることを忘れずに…優しくしないと嫌われる！？

■打ち解けるコツ

一番大切なことは、ホストファミリーに対する感謝の気持ちを口に出し、表現することです。他にもホストファミリーのためにできることを事前に考えておくと良いでしょう。料理を作る、楽器を演奏する、進んで家事を手伝う、家族や日本の写真を持って行くetc…どんな簡単なことでも喜んでもらえるはず。体験談の一つ…ホストファミリーに遊園地へ連れて行ってもらえることになったものの天気が心配で出かける前日に「てるてる坊主」を作ってみたら、当日は見事な快晴となり陽気なホストマザーは行列に並ぶ見知らぬ人に何度となく日本の変な人形のパワーを語り続け、とても喜んでくれたとのこと。です。

■タブー

ホストファミリーは、あなたと日常生活を共にすることを尊重していますから、特別な扱いを期待したり要求することは禁物です。仲間内でお互いのホストファミリーを比較することも避けたいものです。それぞれの家庭を大切に、できるだけ家族と会話を保つように心掛けましょう。また、家族がキリスト教徒の場合など、日曜日には一緒に教会へ行こうと言われるかもしれません。そんなとき、たとえばあなたが仏教徒や無神論者であっても、あなたの家族が尊敬し、大切にしているものに対しては敬意を払うのが礼儀です。

また、日本では法律行為がないとみなされている未成年者でも、国が変われば大人と変わらぬ責任を負わなければならないことがあります。例えば、車の運転。アメリカ・アラバマ州では16歳から免許を取得できますので、「自分にもできる」などと気軽に考えて万一事故を起こした場合、あなたが負う責任は想像できないほど重いものです。ホームステイ中にこれほどの危険をかけて車を運転する必要はまったくありません。個人の自由と責任は常に表裏一体なのです。

■永い付き合いに

別れの日、お世話になった御礼に心を込めた言葉を贈りましょう…ホームステイは、宿泊施設ではないのですから。日常生活の一部をあなたのために割いてくれたホストファミリーと別れた後は、もうそれでおしまいというのは寂しすぎます。帰国してから感じたことを手紙に書いてみましょう。自分の行動を振り返って整理する、良い機会にもなります。国が違えば人々の生活ぶりも変わるのが当たり前だけれど、人間の友情は変わらないことを発見できるでしょう。世界の誰とでも近所付き合いができるようになるためには、まずお互いの素顔が見える付き合いから始めることが大切なのです。



●英語サークル「ウイング」に迎えられたシェーン (右端)

思えば、我が家でホームステイを受け入れるなどとは、私にとってそれまで考えてもいないことでした。昨年夏、「一度経験してみたら?きっと世界が違って見えるかもしれませんよ」という知人の言葉に背中をポンと押された思いで、姉妹都市から来日する青年をお引き受けすることにいたしました。

子供たちが皆独立し、夫と二人きりの生活の中で日本語も不自由なアメリカの高校生をどのようにしたらエンジョイさせてあげられるか…青年が到着するまで不安が山積しておりました。しかし、NIAが用意してくれた対面式で、タスカルーサから着いたばかりのシェーンに初めて会った時から、その不安は少しずつ消えていきました。人懐っこいのにシャイで礼儀正しい態度に私たちの心はどんどん打ち解けてゆき、家族の中に突然若いエネルギーが飛び込んできたようでした。今日は何を食べてもらおうか、何処へ案内しようか…私の頭の中は、毎日シェーンのことでいっぱいになりました。



●時差ボケ解消にうってつけ!

夫と三人で近くのゴルフ練習場へ打ち放しに行った時、「18ホールを85のスコアで回る」という彼のドライバーがうなりを立てると、ボールは遙か正面のネットを直撃しました。周りの方々は、思わず練習をストップして「ホォー」と言いながらシェーンのフォロースルーを眺めておりました。私達夫婦は顔を見合わせ、何故かシェーンを我が子のように誇らしく思ったのでした。また、「ラーメンを食べたい」と言うので、シェーンを近くのラーメン屋さんへ連れて行きました。箸を上手に使って、おいしそうに食べる姿を見て「上手に食

べますね」と、お店の人からほほえましく声を掛けられた時、その言葉を理解できなかったからか、にっこり笑って、恥ずかしそうにしていた姿が今も忘れられません。本人の希望でゲームセンターにも寄ってみました。夫も私も初めてのことで、どこでコインを買うのかも分からずオロオロしていると、自分で買ってきて好みのゲーム機を選び、遊び方まで教えてくれたのには、ビックリしてしまいました。素晴らしいゲームテクニックとイキイキとした笑顔の中に、今まで見えなかったシェーンの本当の姿を見たような気がしました。ゲームに夢中だったはずなのに、騒音の中で頭をかかえている私を気遣ってくれ、そこを早々と引き上げてくれたのでした。



●初体験のゲームセンター

言葉の壁は、心で充分補うことができたと思います。一生懸命、英語で話そうとする夫や私を見てシェーンはよく笑っていました。英語で緊張していると、いつもの自分らしさが出ないのかも知れないと気づき、その時から日本語に英単語を交えながら気楽に話すようにしたのです。シェーンもその方が、かえって意味を理解してくれた様子です。気持ちだけは、きっと、きっとシェーンに伝わったと信じております。夫も本当に良く協力してくれました。毎日、職場から早目に帰宅してくれましたし、何よりシェーンを見守る穏やかで優しい眼差しが、私をも幸せな気持ちにしてくれました。

シェーンは、私たちに未知の経験をたくさん味わわせてくれました。最後の見送りに行った空港で思わず涙し、肩を抱き合った瞬間熱い感情が胸に込み上げてきました。お別れを言ったあと、シェーンの見せた笑顔が今でも頭の中に焼きついております。ホストファミリーを引き受けたことで姉妹都市交流に参加することができて、本当に良かったと実感しております。今回の受け入れ体験は私の家族だけでなく、お友達も協力してくださいました。シェーンを大切に思い、多くの助言やアドバイスをいただいた皆さまに、この場をお借りして心より御礼申し上げます。お世話になった皆さま、どうもありがとうございました。

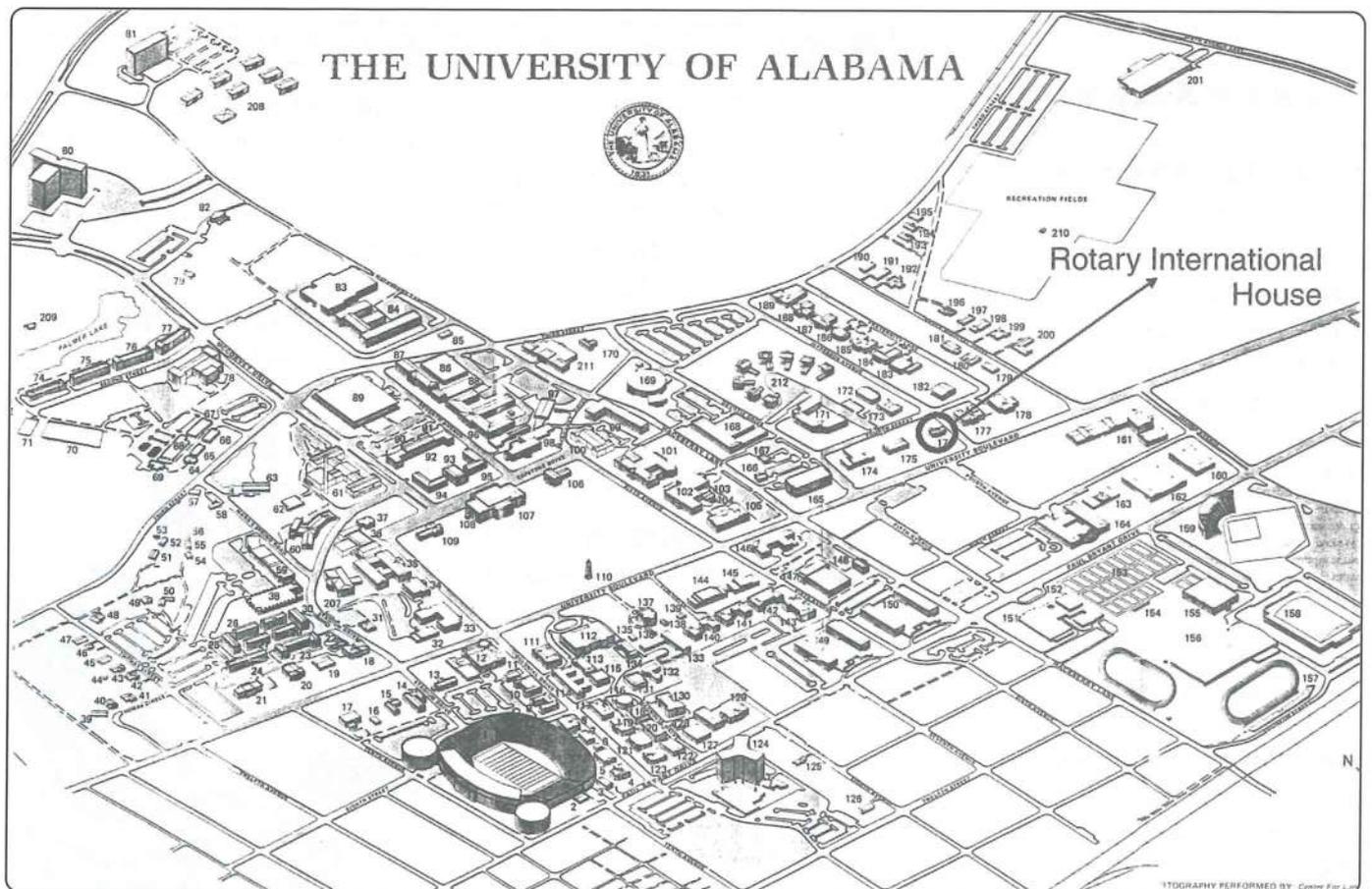
アラバマ大学構内に理想の縮図を築いた米国のロータリークラブ

国際ロータリークラブが掲げる4つの目的の一つ「好意と友情を深める」ことが、習志野市の姉妹都市・米国アラバマ州タスカルーサにあるアラバマ州立大学の学生グループによって生活の一部に取り入れられています。この学生グループは、大学構内にある「ロータリーハウス」に住む12か国12人の留学生たちです。「ロータリーハウス」は、1973年にタスカルーサ・ロータリークラブが異文化間の理解、友愛、平和を推進するために建設した建物で、一つの国から一人の代表者しか住むことができません。ハウスの元住人でスペイン出身のマヌエル・マヨルガさんは、「食生活、政治、宗教、思想などこれほど多くの異なった習慣を持つ者同志が一つ屋根の下で暮らせる場所が他の何処にあるでしょう。ここは、異なる文化・社会的背景を持つ人々が、共に協調して生活できることを証明する場所です」と語り、レバノン出身の元住人ジハド・ブサイベスさんは、「異文化について学ぶことは、偏見をなくすことに役立ちます。個人個人が互いによく理解していれば人を裁く心が消えて、もっと寛容になれます」と、述べています。

学生たちは、ハウス内だけでなく、大学あるいはまた地域社会で積極的に異文化についての意識を高めようとしています。一例を挙げれば、「世界文化シリーズ」を企画して映画を上映したり、教授に講演を依頼したり、国際関係についての公開討論を実施したりしています。時には、地域の小中学校で生徒たちに自国の話をしたり、新入学留学生のためにスポーツ大会を計画したり、同じ国の人々を集めて「自国語アワー」を楽しんだりもしています。

「ロータリーハウスのドアは、誰に対しても開かれています」とは、ブサイベスさんの言葉。クラブ例会や各種の活動拠点として、ハウスはタスカルーサのロータリアンとその他の留学生が定期的に交流する場になっています。若いロータリアンはまた、主として青少年関係の交流事業に参加するため、学内のローターアクトクラブで積極的に活動しています。こうした、さまざまな機会を提供している「ロータリーハウス」を維持するため、タスカルーサ・ロータリークラブは資金の援助を続けています。

(参考資料:「Rotary World」日本語版/情報提供:習志野ロータリークラブ、岡崎淳充氏)



このページは「習志野市国際交流協会N.I.A.青少年部会」がつくるページです。



英会話教室 & パーティーをふり返って

1月9日に「N.I.A.英会話教室&パーティー」が開かれ、50人近くの参加者が集まりました。英会話教室では5つのグループに分かれ、5人のAET（習志野市教育委員会英語指導助手）の先生によって様々なレッスンが行われました。

アマダ先生は、カードの英単語を当てるゲーム。絵を描いたり、とても楽しそうでした。ジェレミー先生は、プリントを使ってギリシア神話を解説。聞いたこともないお話だったので難しそうでしたが、興味深い内容でした。マイク先生は、写真を使ってタスカルーサのスクールについて。日本語の解説もあり、英語をあまり聞き取れない人にとっても分かり易かったようです。マーク先生は、アメリカのMusicや自分の好きな



Singerについて。みんなにも身近な内容で、曲を聞くだけでも楽しそうでした。ジョアン先生

は、全員で自己紹介をしたり、用意したプリントのイデオムについて分かり易くジェスチャーつきで説明をしていました。この方法だと、ただ単に辞書で調べるのとは違い、ニュアンス的に良く理解できるのではないのでしょうか。各グループとも、みんな大変熱心に先生のお話を聞いていました。初めはこのようなレッスンに慣れていないせいか、皆さん少し緊張気味のような感じでしたが、だんだんと先生に質問したり、グループの中で教え合ったりと、積極的に発言するようになってきました。

英会話教室の後は、楽しい交流パーティー！（左の写真）先生方やその場で知り合った方々と、たくさんお話ができたようです。参加者の多くは、日常で外国の方と話す機会が少ないので、きっかけができて良かったと感想を語ってくれました。また、英語を話すことを今までためらっていたけれど、参加したことで話す勇気が持てたという方や、いろいろな人と話できて良かったという方もいました。このように大好評で、またやってほしいという意見が多かったようです。N.I.A.のイベントに今まであまり参加したことのない方も、このような機会に、ぜひ気軽に参加してみてください。きっと楽しんでいただけることでしょう。

(Yukiko.H)



＝ 3月の講座：海外旅行・あれこれ＝

海外旅行がしたい！でもお金は無し…一人旅もいいけど、治安のことも心配。バックはどうなの？海外旅行の計画って何から始めていいのやら？結局春休みの旅行は諦めてしまった、というあなた！海外旅行初心者のための講座です。内容は、旅行会社を有効利用する方法(ベテラン添乗員が安く楽しむヒントを伝授)、相部屋！屋台！バックパッカーの楽しみ方、女の子の個人旅行(体験談をもとに学生がアドバイス)etc.です。参加ご希望の方は、N.I.A.事務局までご連絡ください。入場無料、先着30名です。

日時：3月27日(土) 1:00PM～

場所：京成津田沼駅ビル・サンロード
6F大会議室

連絡先：TEL(047)453-9300

習志野市国際交流協会

■ 青少年部会企画にご協力をお願いします

N.I.A.青少年部会は、主に学生を対象にして国際交流活動をしています。今後もいくつか企画を考えていますが、外国文化に関するもの・日本文化に関するもの・その他種々の分野で一日講師として青少年に何か教えてくださる方を募集しています。日時や会場は、相談のうえ決めますので、どなたでも空いている時間で構いません。また、今後の企画に協力してくださる方も歓迎します。今、企画案として求めているのは、

- ・ 外国料理や日本料理を教えられる方(和菓子やケーキも可。一品でも構いません)
- ・ 陶芸を教えられる方(窯を貸してくださる方)
- ・ フラメンコやタップダンスなどの踊りを教えられる方
- ・ 外国文化に精通している方
- ・ 外国語を教えられる方
- ・ 旅行、留学などの体験談を話してくださる方(文章でも構いません)

・ 民族衣装を貸してくださる方などです。この他にも、得意分野がありましたら、ぜひ教えてください。ご協力いただいた方には、薄謝を用意させていただきます。

お問い合わせは、「N.I.A.事務局」まで
TEL. (047) 453-9300



N.I.A. Youth / Diary Of One's Trip

個人旅行のススメ

板橋 宏一郎さん(大学生)

私は1998年12月、たった一人でタイを旅行した。個人旅行なのでガイドや添乗員はいないし、泊まる所はホテルではなく、ゲストハウスやユースホステルと呼ばれる安宿がメインだ。また、食べる所も屋台が中心だ。大きなバッグを背中に担いで、20日間タイを旅した。そう、人は私を「バックパッカー」

■その1：自分で旅の計画、予算を立てられるのが楽しい！

行く国、行く街、航空会社、宿、そして旅の予算と期間など、すべては自分で決めた。私は、12月10日～29日までの20日間にバンコク、ラーヨン、アユタヤ、カンチャンナブリを回ることにした。航空券は、安いものを探したらユナイテッド航空・成田バンコク往復28,000円というのを見つけた。宿は、タイに行ってから探すことにしていたので、日本では予約もしなかった。一日の滞在費は1,000～2,000円、保険料、土産代込みで全日程約10万円だ。

タイは日本に比べると、とても物価が安い国だ。とくに、バス、タクシーの運賃、食費、宿泊費は信じられないくらい安い。例えば、バンコクの市内を走るバスは3.5バーツ(10.5円)、屋台で食べたチャーハンは30バーツ(90円)、宿は一晚90バーツ(270円)。だから、一日3,000円もかければ豪遊できる。

■その2：何より、人との出会いが楽しい！

一人で旅をするのは退屈だろうと思う人もいるかもしれないが、実際は、旅の間にいろいろな人との出会いがあるので退屈はしない。同じ土地を移動する旅人たち。地元の学生、人なつこい子供達などだ。たとえ言葉がわからなくても、うまくコミュニケーションがとれなくても、仲良くなれることはしょっちゅうある。

バンコクから南へバスで3時間くらい行ったところにホア・ヒンという小さな街がある。ここに4km以上続く美しいビーチがあると、バンコクで同じユースホステルに泊まっていたドイツの旅行者に聞き、思わずやって来た。話の通り、美しい白浜がどこまでも続く。波は低く、打ち寄せる波音すらほとんど聞こえない。人もほとんどいない。そして、雲一つ無い青空だ！空の青さ、砂浜の白さ、無音の空間…。騒がしいバンコクから来た私は、この大自然の中で身も心も洗われたような気がした。

そのホア・ヒンビーチでのことである。砂浜で一人、日光浴をしていると、私が寝ている所から少し離れた場所に、地元の人たちがやってきた。全員で10人くらい、その中の一人はギターを持っていた。歌を歌いながら、宴会でもするのか？と聞いていたら、そのとおりはじめた。ギターを弾き、みんなで歌っている。とても楽しそうだった。私がそちらを見ていると、向こうも気づいたらしく、こっちに來いと手招きされた。面白そうだったので迷わず行って

と呼ぶ。

個人旅行は、とにかく楽しい。一度知ったらやめられない。何がそんなに楽しいかって？自分で旅の計画を立てられるのが楽しい！そして、何より人との出会いが楽しい!! パック旅行では味わえない個人旅行の良さを、もっとみんなに知ってもらいたい。

みた。「日本人か？どこに泊まっている？今は休みでタイに来てるのか？」などといろいろ聞かれて、ビールを勧められた。その場でスイカや炭火で焼いた貝もごちそうになりながら、楽しい時間を過ごした。ギターを弾く男が私に、「曲をリクエストしてくれ」と言ってきた。私は何かタイの歌をリクエストしたいと思って、バンコクで乗ったタクシーの中で聞いた歌を口にした。案の定、「よく知っているね！」と言われ、喜ばれた。もちろんタイ語なので、みんなと一緒に歌えないが、聞いているだけでも十分楽しかった。結局3時間くらい一緒にいた。こんなことが、旅の途中何回かあった。



●タイの女性たちの微笑はとても素敵だ。目が合うと、よくこちらに微笑みかけてくれる。そう、そんな時は、こちらでも微笑み返し、「サワディー(こんにちは)」と一言いえばいいのだ。この国では、微笑みは挨拶だ。いくらかわいい子に微笑みかけられたからって、その気になってはいけない。(笑)

■若者よ、バッグに荷物を詰め旅立て!!

若者でなくても、もちろんOK!(^_^) 旅の途中で多くの日本人旅行者に会った。有給休暇を使って会社を休んできた人、冬休みを利用して旅行する学生、レストランで暇ができた人など様々だ。普段の生活では体験できない非日常を誰もが皆楽しんでいる。アユタヤで知り合ったある勤め人の旅行者は、私にこう言った。「社会に出たら、なかなか長い休みは取れないから、旅行は学生の時にできるだけ行っておいたほうがいい」。私は現在大学4年生。幸運にも就職が決まったので、4月からは社会人だ。さて、この記事が「スクウェア」に載る3月、学生時代最後の旅は、どこへ行っているのかな？

日本の若者に見て欲しい街 / 中国吉林省・長春



●(上)旧満州国国務院、(下)旧満州国交通省。現在はいずれも白求恩医科大学

■歴史的建築物

昨年、夏休みを利用して一年ぶりに故郷の長春に帰りました。かつて、日本が中国に「満州国」を築いた時代の首都「新京」として、特に年配の方にはよく知られている街です。新中国成立後は、吉林省の省都として3本の鉄道が連絡し、東北地方有数の交通の要となっています。

広大な中国は、各地方・各都市がそれぞれ独自の文化と個性を持つ多様な国家です。だからこそ、その土地の歴史が大切にされ、現在に生かされています。長春の場合は、ラストエンペラー溥儀の宮殿・偽皇宮、旧満州国の国務院、中央銀行、総合裁判所、関東軍司令部、満鉄大和ホテルなど頑健で重厚な建物群がそのままの姿で残されています。こうした歴史的建築物の多くは、今も中国政府関係機関によって有効に活用されています。

■森の都

もちろん、新しい建物もたくさんあります。長春映画製作所は、旧「満映」跡にできた中国初の映画製作所。総面積28万平方kmは、中国一の広さです。他に、吉林大学・東北師範大学・芸術学院・地質学院・中国科学院長春総合研究所など有力な大学や研究機関が相次いで誕生し、文化都市として著しい発展を遂げています。

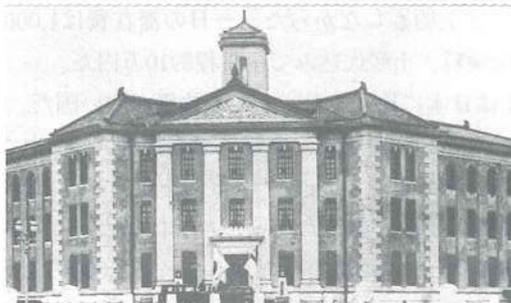
新市街は、文化都市にふさわしい近代的な都市計画に基づいて建設され、車道4車線+自転車専用道路と歩道に区分されたメインストリートは、人と車と自転車が忙しそうに行き交っていました。街路樹には、柳・松・ポプラが植えられ、芝を多く用いた緑のスペースには春から秋にかけて木陰で憩う市民の姿を数多く見かけます。街のあちこち

にこうした緑豊かな公園があることから、いつの間にか長春は「森の都」としてもその名が知られるようになり、日本の仙台市と姉妹都市提携を結んでいます。

■時空を超えて

270万人の市民が暮らす長春の街を歩いて、私は久しぶりに心の安らぎを覚えました。カラフルな高層ビルと歴史的建造物が並んでそびえ立つ光景は、過去・現在・未来が渾然一体となって永久にこの街の魅力を保ち続けていくことでしょう。立止まって空を見上げた時、私はふと、そう感じたのです。

■旧満州国政府建造物と現在の使途



●満州国国家政省→長春市人大常務委員会



●満州国産業省→白求恩医科大学付属病院



●満州国文部省→東北師範大学付属小



●満州国中央銀行→中国人民銀行吉林支社

5年前の6月、私は国連の登録団体「世界女性平和連合(WFWP)*」が行う海外派遣事業の一員として、初めて西アフリカ・ギニア共和国(Republic of Guinea)へと向かいました。西アフリカの水瓶と呼ばれるギニアは、1年の半分が雨季でその間は大量の雨が降り続きます。年平均降水量は千葉県が約1,200mmであるのに対し、ギニアは4,293mmもあって年間を通して湿度が非常に高いところです。主要産業は、金・銀・鉄・ボーキサイト・ダイヤモンドなど豊富な地下資源を利用した採掘業が行なわれています。



●現地の小学校で(中央左)

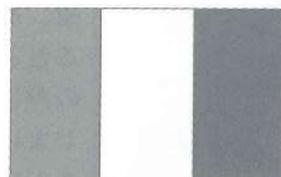
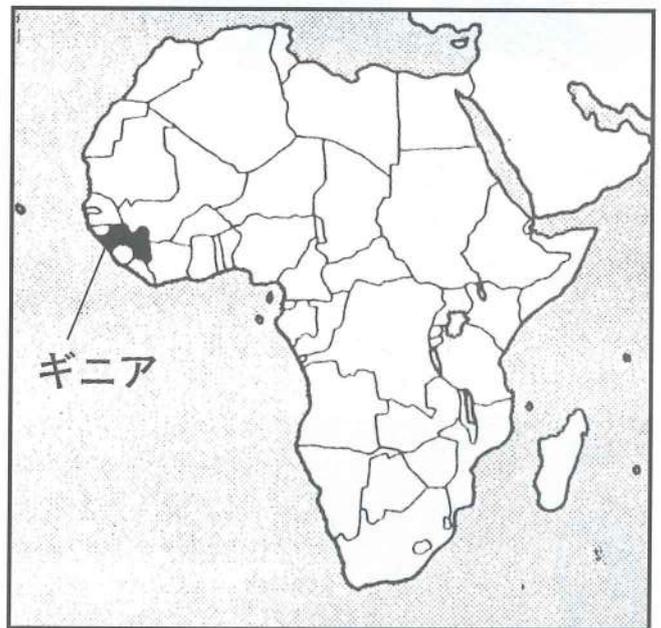
ギニアは、かつてフランスの植民地だった経緯からフランス語が広く使われていますが、民族的にはマリンケ・フラニ・スースーなど15もの部族で構成され、主要な部族語だけでも4種類あります。また、人口の85%はイスラム教徒ですが、キリスト教や伝統的な部族宗教も人々の間に受け継がれており、お互いに対立することもなく自由でのかな国に感じました。しかし、周辺では隣国のシエラレオネとリベリアが最近まで内乱を続け、ギニアビサウでも昨年5月に内乱が発生しました。こうした状況から、ギニアの総人口700万人弱のうち一割近くが周辺国から難民として流入してきた者といわれています。ギニア政府は、平和主義者である大統領の意向によって難民を受け入れているのです。

一昨年8月に再びギニアを訪れ、シエラレオネ国境に近いフォレカリアという村の難民キャンプへ出向いた時の光景には驚かされました。村の住民のうち、比較的広い家を持っている者が自分たちの家を難民に提供し、一緒に暮らしていたのです。中には、50人ものシエラレオネ人を受け入れている家庭もありました。貧しくて広い家のない村人でも、品物を差し出すなど助け合って暮らしている姿には、本当に感動しました。ギニアとて、貧しい国に違いありません。しかし、同じような境遇の人々がお互いに助け合う心を目の当たりにして、日本人として深く学ばされるものがあつたのです。

私が参加した現地活動は、NGOとして「世界女性平和連合」が行う日本語教室・洋裁教室・エイズ予防キャンペーン・歯ブラシ教室などの他、病院や孤児院・身体障害者施設やハンセン氏病施設を回って医療器具や物資の援助をしまいりました。それらの援助品は、すべて日本からの寄付によるものです。ギニアの教育水準はまだ低く、子供たちの3人に一人ぐらしか小学校へ行けません。学校へ行けない子供たちの中には、路上で物売りをして家計を助けている姿も多く見られます。政府は、もちろん教育に力を入れていきますから、学校も少しずつ増えてきていますし、学校へ行かせたいと願う親たちも増えていきます。1,000円あれば、現地の子供を一か月学校へ通わせることができるのです。これまでの支援に加え、今後は子供たちの教育が進むようなプロジェクトに取り組みたい、と私は考えています。

ふり返って、一主婦の私がこのような活動に参加できるのも、我が家の夫と子供たちによる理解と協力があればこそ、といつも感謝しております。そして、これからもギニアと日本の交流が大きく広がるよう努力してまいりたいと思っています。

*<http://www.kt.rim.or.jp/~wfwfp/>

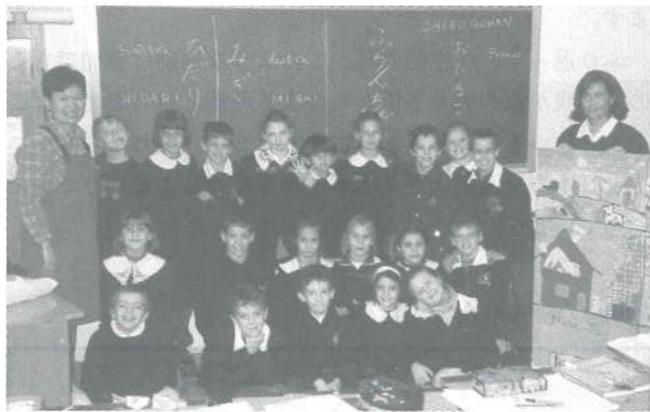


ギニア
Republic of Guinea(GUI)

チャオ!サッカーの中田選手がイタリアで大活躍しています。昨シーズンの新聞報道は、「イチカバチかの賭け・中田獲得」、「キーパー殺し!中田始動」、「グラウンドの砲手長・中田」と、日を追う毎に評判が高くなっていきました。近所のイタリア人たちも、「ロベルト・バジジョを超える大物」と声援を送ってくれる、今日このごろです!



●春が待ち遠しいドロミティの山野に咲く野生のアーティチョーク



●3年生の授業。黒板の日本語に注目。

アルプスの寒風が身に凍みる冬の間、屋外でフレスコ画を描くことはありません。代わりに、銅版画を学んだり地元の小学校へ出かけて日本文化の紹介などをしながら過ごしています。今回のAir Mailは、ヴィチェンツァ市内の私立校で壁画の授業をしたときの様子をお知らせしましょう。

朝10時から夕方4時まで、2週間小学校へ通い詰めて1年生から最上級の5年生まで全校約100名程の児童を相手に特別授業を行いました。何しろ遊び盛りの子ども達、そのニギヤカなことといったら…私の声は三日でかれてしまいました!子どもの中には、壁ならぬお互いの服の上に絵の具を塗りたくっている者がいたことに後から気づき、そ



●トレヴィーゾの由緒ある民家玄関に描いた壁画



●こちらは5年生。ヤンチャ度もUP!

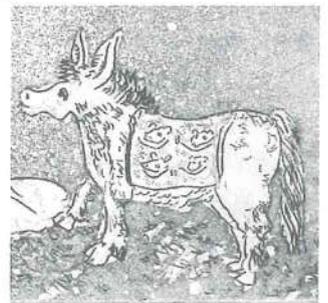
の姿にギョッ!もつとも、土と石から作った昔ながらの絵の具を水溶きしたもので、全然心配はしなかったけれど…駆け回る子ども達を追いかけたり追いかけられたり、いろいろと大変でしたが大勢の子ども達と仲良くなれて、とにかく楽しい思い出になりました。

授業の締めくくりに、簡単な日本語と日本の文化を子ども達に教えました。柔道・剣道・相撲・番付・お金・日本料理とお箸・挨拶と数の数え方などなど…その甲斐あって、顔を会わせる度に「コンニチハ」、「イチ・ニ・サン」の大合唱が始まりました。いよいよ最終日、帰り際に子ども達から



●自宅ガレージにて。近所の人が誕生日を祝ってくれた。

ら画用紙に描いた絵をプレゼントしてもらい大感激!この冬は、本当に素晴らしい体験をさせていただきました。また来年、授業ができることを今からとても楽しみにしています。もちろん、子ども達の絵は大切にしまっておきます。



Yumiko

【宇井さんのホームページ】

<http://www.affresco.com/sakata>

会員紹介/こんにちは、コ・ン・ニ・チ・ハ/みなさん、どうぞよろしく！

スポーツマンシップを発揮

しらとり とよあき
白鳥 豊明さん(谷津在住)

このほど習志野市から平成10年度市政功労者表彰を受けた白鳥さんは、国民健康保険運営協議会委員として市行政に永年関わってこられました。N.I.A.との関わりも同じように深く、1987年の設立時からメンバーです。とりわけ強く思い出に残る出来事は、1993年にサッカーの中学生選抜チームを姉妹都市タスカルーサへ派遣したことだそうです。当時、白鳥さんは習志野市サッカー協会の事務局長としてチームに同行しました。試合結果は、4戦して2勝1敗1分。唯一の黒星を喫した相手は、アラバマ州のチャンピオンチームでした。いつかは、この借りを返したいと今密かに考えています。

白鳥さんにとってサッカーは生活の一部のようなもの。千葉県サッカー協会では、審判委員会副委員長も歴任されたそうです。目下の目標は、2002年ワールドカップの日韓共催に向けて、ハングル語をマスターするのが夢、とのこと。

習志野とタスカルーサの姉妹都市交流は、今年で13年目を迎えます。これからも大好きなスポーツの分野で、ますます交流が深まるよう協力を惜しまない、と頼もしく語ってくれました。白鳥さん、今後ともN.I.A.をどうぞよろしく！

(Minoru.K)



●表彰式にて

一生懸命がすてき！

ほう しゅんか
鮑 俊華さん(屋敷在住)

鮑さんは上海から日本に来て4年目になります。ご主人ともども中国の方で、この春小学校に入学するお嬢さんがいます。とても勉強熱心で、日常会話はほとんど不自由なのに、もっと上達したいとN.I.A.の日本語ボランティアと一緒に頑張っています。今年は日本語検定試験にも挑戦したいと張り切っています。

料理が大変お上手で、手作り餃子は最高です。一見日本の奥さんと何の変わりもないようですが、共働きが当たり前の中国に比べると、「家事は奥さんが」という日本の生活は、とてもかわいそうなことだと思っているそうです。もちろん、鮑さんのご主人はおいしい料理を時間のあるとき作ってくれるそうです。なんと、彼女よりも上手だとか…。

一人っ子政策の中国では子供の教育に皆とても熱心で、日本の子供たちがゆったりして見えるそうです！鮑さんの家庭も、バレエ、ピアノ、合唱とお子さんの教育には大変熱心です。日本は、鮑さんにとって外国なのに自分の力で道を切り開こうというひたむきさには、本当に感心するばかりです。

(Kazue.O)



●N.I.A.日本語ボランティア茶話会にて(左)

時間を上手に使いたい

やすほ なおみ
安保 直美さん(袖ヶ浦在住)

私は、成田国際高校の1年生です。学校には英語の得意な生徒や留学生がたくさんいて、国際感覚を身につけるにはとても良い刺激になります。

私が英語を初めて習ったのは中学生のとき。AETの先生と上手に会話ができたらしいなという思いから、英語への興味が急速に深まったような気がします。

そして去年の夏、N.I.A.の英語交流キャンプに参加したことをきっかけに、N.I.A.へ入会しました。キャンプの3日間は、本当に楽しく、出発前の不安はどこへ行ったのやら！アッという間に過ぎてしまいました。

N.I.A.のイベントは、意外な人との出会いや中学でお世話になったAETの先生方との交流など和気あいあいとした中で学べるのがたくさんあるので、積極的に参加したいと思います。

最近はコンピュータに興味を覚え、インターネットもやってみたくと思っています。でも、勉強はどんどん難しくなっていくし、やらなくてはいけないことや、やりたいことがいっぱい。時間を作るのが大変！N.I.A.の皆さん、これからもよろしくお願いします。

(Naomi.Y)



●N.I.A.のパーティーで(左)

IEC 国際交流センター 英会話スクール

当スクールでは、英語教師を米国、カナダから招請しています。
先生方を貴方のご家庭や友人に紹介し、日常生活からの国際化にお役立て下さい。

京成津田沼駅クレストホテル前
☎451-0104



株式会社 雄企画

Let'sチャレンジ/ ザ・英文クロスワードパズルNo.45/プレゼント付!

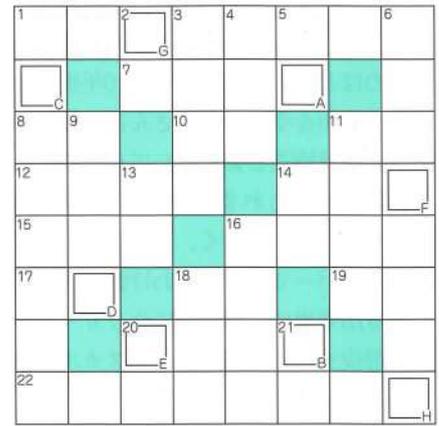
<DOWN>

1. Goodwill
2. North Carolina(Initi.)
3. Between black and white, coloured like ashes or the sky on a cloudy day
4. Point at
5. Chemical symbol for Rubidium
6. Put into working order
9. Your school is older than ____.
11. This hat will ____ the sun off my face.
13. Chemical symbol for Tantalum
14. Topographical engineers(Initi.)
16. Large, heavy animal with rough hair
18. Birds like ostrich in New Zealand that is on the way to extinction
20. British Public(Initi.)
21. Royal Academy(Initi.)

<出題者> 御園生 馨 (N.I.A. 会員)

<ACROSS>

1. Australian animal that jumps along
7. Baby's or child's bed with sides of rails or bars
8. Negative answer
10. Before noon(opposite of PM)
11. Kilogram(abbrev.)
12. He bought this whiskey and cigarette at ____ free shop in London.
14. Afternoon drink with scones
15. National Rifle Association
16. Have you ever ____ Australia?
17. Prefix:e.g. ____cape, ____cheat, ____cort etc.
18. I, my, ____
19. Philippine Islands(Initi.)
20. Wild male pig
22. Divide



<応募事項>

クロスを解いたあと、A~Hの文字をつなげてできたことが正解です。

ハガキに解答と住所、氏名、年齢、職業、電話番号、本誌の感想等を書いて送って下さい。5月末日必着。

正解者の中から抽選で2名の方に、アラバマ大学オリジナルマウスパッドをプレゼントします。当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。宛先: 〒275-0016 市内津田沼5-12-12 サンロード4F 習志野市国際交流協会「N.I.Aスクウェア」編集部まで。たくさんのご応募お待ちしております。



Information

＝N.I.A.事務局が移転します＝

4月1日からN.I.A.は、京成津田沼駅ビル・サンロード4階に独自の事務局を開設する予定です。新しい事務局はロケーションも便利なおうえ、*土・日曜、夜間でも会員の自主的な活動が可能になります。さらに、小人数でも対応可能な多目的スペースを用意して、外国語学習をはじめ、日本語講座・NGO活動など会員ニーズに対してきめ細かいサービスの提供をめざします。グループはもちろんのこと、お一人でも気軽にお立ち寄りください。

*開所時間(月～金9:00-17:00)以外の利用は、事前に承認を受けた会員のグループに限ります。夜間利用は8:00PMまで。
*多目的スペースは、N.I.A.会員以外の方は利用できません。
*外国語を学んでみたい会員の方は、希望事項をあらかじめ登録いただくことによって、講師の紹介などグループ化の支援もいたします。(謝礼等については、直接交渉していただくことになります。詳しくは、お問い合わせ下さい。)

前回の解答

<解答> BILINGUAL

E	U	R	O	P	E	A	N
L	A	M	E	N	E		
E	D	I	N	B	I		
C	U	R	T	D	U	G	
T	N	T	I	T	C	H	
R	E	N	T	K	B		
I	T	A	I	L	O		
C	A	L	E	N	D	A	R

◆新住所 〒275-0016 習志野市津田沼5-12-12 サンロード4階
TEL (047) 452-2650
* 4月1日(木) オープン予定

＝1999年姉妹都市派遣青少年募集＝

派遣先: 米国アラバマ州タスカルーサ市
概要: 派遣生は、アラバマ州立大学附属英語研修所(English Language Institute)で英語を学びながら、週末には観光地を訪れたり、一般家庭に滞在することで、自己研鑽と両市の友好を深める役割を果たします。

期間: 1999年7月10日(土)～7月28日(水)の19日間

人員: 10名(他に習志野高校派遣生10名が合流予定)

費用: 約15万円(見込)。アラバマ大での研修費は、習志野市が負担の予定です。

応募資格: 1979年4月2日～1984年4月1日生れの習志野市民であること。その他、詳しくはN.I.A.事務局で配布中の募集要領をご覧ください。

提出書類: 所定の申込書に本人が記載すること。

締め切り: 4月30日(金)午後5時
(郵送の場合は同日必着)

選考方法: 面接審査を行いません。

◆お問い合わせ及び申込書提出先

N.I.A.習志野市国際交流協会
TEL (047) 452-2650

〒275-0016 習志野市津田沼5-12-12
サンロード4階

* 4月1日から受付を開始します。

■米公演メンバー募集

谷津公民館を拠点として活動中の混声合唱団「コールドリーム」は、3度目のアメリカ演奏旅行を実施します。ご関心のある方は、ぜひお問い合わせください。男声歓迎!

期 日: 1999年7月20日～28日

訪問地: サンフランシスコ・モントレー・サンノゼ(各地の教会でコンサート)

練習日: 毎週火曜 午後6:30～9:00

問合せ: TEL (047) 475-4782石原

または (047) 476-5725 藪田まで

■勉強会 (N.I.A.会員対象・有料)

◆会員が教える外国人のための日本語能力試験1・2級対策コース…月曜午前

TEL 03-3918-0058 鈴木 忍まで

■N.I.A.への寄付金…ありがとうございました。



◆アンデスの風実行委員会から (2/21)
◆梅本 尚江様…記念硬貨367枚(額面合計36,950円)

◆「アンデスの風実行委員会(鎌村亮子会長)様…25,000円

■N.I.A.ホームページが新しくなりました

http://www.city.narashino.chiba.jp/~nia/

編集アラカルト

●今年は、4年に一度の市長・市議・県議選挙の年。来月の投票日には、棄権しないよう心掛けましょう。(M・小林)

●N.I.A.会員となって10年以上経ちましたが、これからのN.I.A.がどんな路線を歩むべきか、静かに考える時期にきているのではないのでしょうか。会員みんなで答えを出してみませんか。(A・鷹栖)

●「Y2K PROBLEM BUG」の対策期限が1年を切った。コンピュータ・システム、ソフトの修正等万全の対応により生活不安のない2000年入りを願う。(K・御園生)

●今月で退職します。皆さまには、様々な場面で世話になり、ありがとうございました。N.I.A.での1年間は、とても貴重な経験でした。最後に唐突ですが…森に住む動物のためにも自然は大切に。(K・山中)

●永年の念願だったN.I.A.事務局の独り立ちが実に実現することになりました。関係各位のご協力に心より感謝申し上げます。新生N.I.A.をどうぞよろしく! (編集部一同)

N.I.A.スクウェア・第45号

発行1999年3月17日/発行責任者・林 安次
編集・習志野市国際交流協会

編集責任者・小林 実

〒275-8601 千葉県習志野市鷺沼1-1-1

習志野市役所総務課内

電話(047)453-9300 FAX 453-1547